

平成 23 年度は、歴代陸海軍大臣の中から毎号一人を取り上げて、図書館史料室が所蔵するその人物の関連史料を紹介しています。

《 上原 勇作 1856～1933年 》

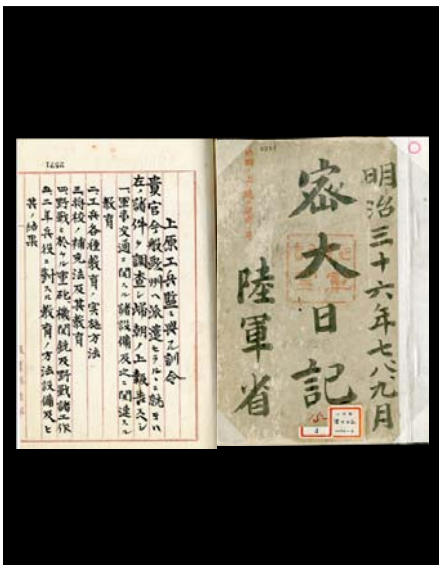
一陸軍三長官（陸軍大臣、参謀総長、教育総監）を歴任した工兵の父一



万国平和会議委員随員上原大佐外 1 名海牙府へ到着の件

（登録番号：陸軍省一雑-M32-1-70）

上原勇作元帥は、明治 12 年 12 月、陸軍少尉に任官、その後、工兵監、第 7・14・3 師団長、陸軍大臣、教育総監、参謀総長等の要職を歴任しました。この史料は明治 32 年 5 月、参謀本部第 3 部長であった同元帥（当時大佐）が、海軍の坂本俊篤大佐とともにオランダのハーグ（海牙）で行われた万国平和会議に委員随員として参加した時のものです。青木周蔵外務大臣から桂太郎陸軍大臣に対して「兩名トモ本月十五日海牙府へ到着致候旨」と通知されています。同会議では国際紛争平和的処理条約等が調印されました。上原元帥は議題に対し終始よく委員を助けた功績により、勲四等旭日小綬章を授与されています。



教育総監部 欧州へ差遣の上原少将へ訓令の件

（登録番号：陸軍省一密大日記-M36-2-4）

この史料は明治 36 年 8 月、工兵監であった上原元帥（当時少将）が教育関係調査のため欧州に派遣されるにあたり、教育総監部より与えられた「上原工兵監ニ與フル訓令」です。「貴官今般欧州へ派遣セラルニ就テハ左ノ諸件ヲ調査シ帰朝ノ上報告スヘシ」として、軍事交通に関する諸設備及びこれに関連する教育、工兵各種教育の実施方法、将校の補充法及びその教育、野戦における重砲、機関銃及び野戦諸工作、2 年兵役に対する教育の方法設備及びその結果等、全部で 5 つの調査項目が示されています。欧州での調査を終え、船で帰国の途に就いた同元帥は、上海到着の前夜、日露開戦の報に接しました。

《お知らせ》

史料保存のためのマイクロ撮影にともない一時的に閲覧できない史料があります。

詳しくは、防研ウェブサイト「お知らせ」をご覧ください。

※ 記事に関する御意見、御質問等は下記へお寄せ下さい。なお、記事の無断引用はお断りします。
防衛研究所企画部企画調整課
専用線：8-67-6522、6588（史料紹介コーナーのみ6668）
外線：03-3713-5912
FAX：03-3713-6149 E-mail：nidsnews@nids.go.jp
※ 防衛研究所ウェブサイト：http://www.nids.go.jp